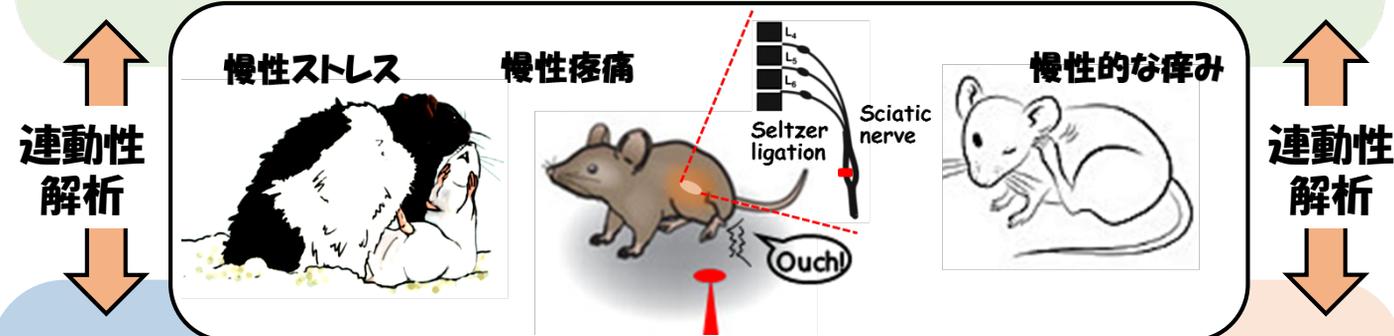
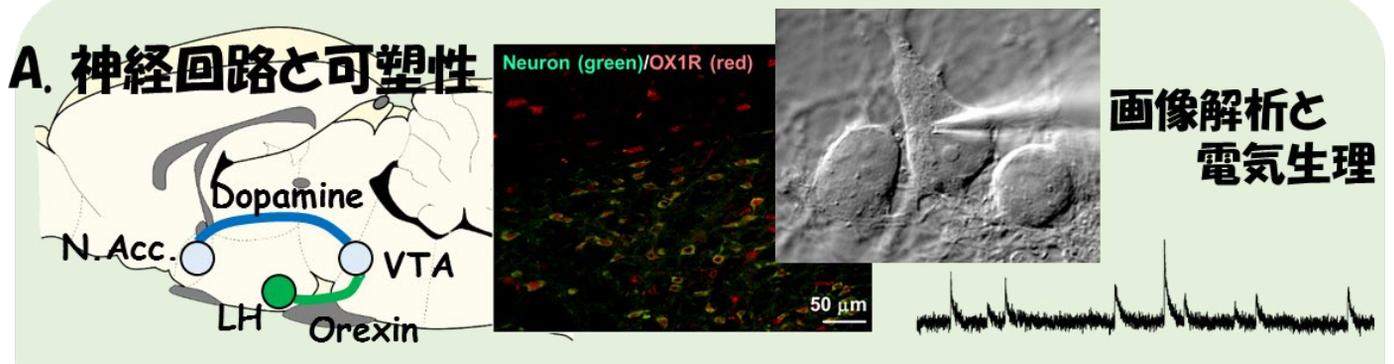


“睡眠・情動機能障害の病態に迫る神経科学研究 と創薬シーズの探索を目指して”

当研究室は、創薬を見据えた研究室です。一重に創薬と言っても、病気の本質が分からなければ、薬の創製は出来ません。「何を到達目標とし、何を知らるために、何をすべきか」。脳科学を題材として、みんなで様々な事を議論をしてみませんか。分からない事だらけと心配になるあなた、当研究室はそんなあなたを歓迎します。

～ストレスや持続的な感覚刺激は、脳に何をもたらすのか～

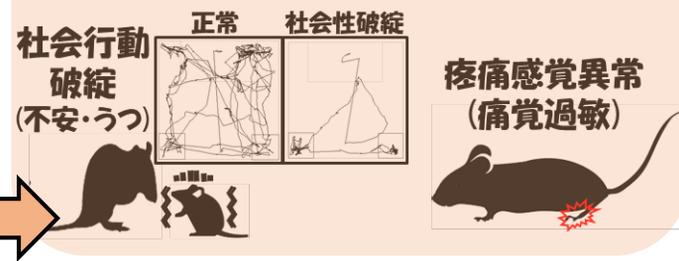


B. 睡眠 (脳波解析)



C. 情動・感覚 (動物行動学)

・オプトジェネティクス ・薬理遺伝学



ヒトが長期間不快な感覚刺激やストレスにさらされる時、脳が正常に機能し難くなることは、ごく自然に理解出来る事である。しかしながら、その正常ではない脳機能が、一体「どこで、どのように、どうやって起こり得るのか」、全貌は未だミステリーである。当研究室では、ストレスや慢性的な痛み、痒みを題材とし、これらによって引き起こされる睡眠や情動、感覚障害がどの様に起こり得るのかを脳の神経回路と可塑性をキーワードに研究を展開する。そこで得られた知見が、病気の本質を解明する一歩に繋がると共に、新たな創薬研究のシーズとして社会還元と貢献に繋がれることを期待している。